



第4号 令和2年6月10日(木)発行  
ひたちなか市立田彦小学校  
児童数886名 実家庭数703戸

## 6月11日は 田彦小学校47回目の創立記念日



【正門わき『たびこの子』像】

田彦小は、昭和49年6月11日に田彦小学校敷地造成が着工された日を記念して創立記念日とし（学校沿革誌の記述から）、今年は47回目の創立記念日を迎えました。なお、この昭和49年は茨城県で国体が開催された年で、旧勝田市はラグビーとソフトボールの会場になりました。

### 田彦小学校のはじまり

本校は、昭和50年4月1日に開校しました。当時は高度経済成長のまっただ中で、ここ勝田市（当時）も例外ではなく、日立製作所関連の工場が集中し、年々人口増加の一途をたどっていました。そうした中、児童数は急増し、勝田市内11番目の小学校として田彦小学校が誕生しました。

元東石川小学区の大島・外野地区、元佐野小学区の田彦（一部元市毛小学区）、高場（房田）地区を田彦小学区として本校は創設されました。当時は、1年4学級、2年3学級、3年3学級、4年3学級、5年3学級、6年3学級の合計19学級、児童数760名で創立当初から大規模校でした。

### 校章について

校章は開校した年の昭和50年10月13日に制定されました。校章の図柄は「つつじ」の花を上から見たものだそうです。開校当時、校庭には樹木があまりなかったので、分離した佐野小学校や東石川小学校からつつじが贈られ、みんなで移植したそうです。それにちなんでデザインされたようです。

このあと作られた校歌にも「色さえる、英知のつつじ」とあります。

### 「たびこの子」の像

正門付近にあるブロンズ像は、昭和60年6月10日、創立10周年を記念して設置されました。当時の新聞には、実行委員会を組織して約600万円の寄付金を集め、この像の他、総合遊具や楽器を整備し、タイムカプセルを埋設したとあります。なお、当時の児童数は1358人と今より約470人も多かったのには驚きです。

## 創立記念集会がありました。

6月2日（水）のロング昼休みの時間に、校庭で創立記念集会が実施されました。11日の学校創立記念日を前に集会委員会が企画したもので、委員会の児童が司会やゲームの説明、進行などを行いました。

校長先生からの話の後、田彦小学校出身の2人の先生（いらっしゃったことにビックリ。）から、当時の思い出話をうかがいました。

当時の運動会は裸足で参加するため、運動会前には校庭の石をくまなく拾ったこと、『たびこの子』像の除幕の後にタイムカプセルを埋めたことなど、初めての話に児童たちはうなずいて聞いていました。

話を聞いた後、全校児童で仲間作りゲームを行いました。集会委員の児童がたたいた太鼓の数の人数でグループを作り、できたグループから座っていくゲームです。短い時間でしたが、みんなで楽しいひとときを過ごすことができました。